

神石高原町立神石高原中学校 校内研修 音楽科学習指導案

授業者 檜崎 真紀

日時	令和2年9月18日（金）	
学年・組	第2学年A・B組（男子12名 女子11名 計23名）	
題材名	曲の構成を理解して、曲想を味わおう（教材名：「交響曲第5番 八短調」）	
教科における見方・考え方	音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きを視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること	
題材で育成する力	学習指導要領 内容 B 鑑賞 ア 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して聴き、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わうこと。 〔共通事項〕ア 音色、リズム、旋律、形式、構成 イ 動機	
題材に係る生徒の状況と指導	1年生の時には、ヴィヴァルディ作曲の「春」とシューベルト作曲の「魔王」、日本の民謡やアジア地域の諸民族の鑑賞活動を行い、速度や強弱、リズムを中心とした音楽を構成する要素や要素同士の関連に注目して、音楽の特徴を捉えた。2年生の1学期には、バッハ作曲の「フーガ ト短調」の鑑賞を通して、構成や音色、旋律を中心とした音楽を構成する要素や要素同士の関連に注目して、音楽の特徴を捉えた。構成や音色、旋律については、1学期の終わりから2学期にかけて学習した合唱の活動でも特に注目した要素であり、前回の鑑賞曲の「フーガ ト短調」だけでなく、合唱での学びも、今回の学習に繋ぐことができると考える。 これまでの鑑賞の授業では、音楽の特徴を表す適切な語句を見つけられなかったり、どの要素について感じ取っているのか分からなかったりする生徒が多く、感じ取ったことを自分の言葉で表現することが難しいという実態がある。そこで、「ぐんぐん time」において知識を定着させるとともに、要素の特徴を表す言葉を生徒から集めたり教師が示したりすることで語彙を増やしていく。また、自分が知覚したり感受したりしたことを、他者と交流させる時間を充実させ、より豊かな鑑賞につなげたい。	
題材の観点別評価規準	音楽への関心・意欲・態度 ・オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、八短調、ソナタ形式と曲想のかかわりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞の能力 ・オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、八短調、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ・知覚・感受しながら、音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して、解釈したり価値を考えたりし、根拠をもって批評するなどして、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

探究活動に係る、題材と貴く指導と評価（全6時間）

探究過程	回数	生徒の活動	生徒の思考	教師の支援等	評価規準【方法】	コ	主	ア
課題設定	1	・オーケストラの楽器や楽器それぞれの音色を知る。	・金管楽器と木管楽器の音色の違いは何だろう。 ・金管楽器は華やかで木管楽器は柔らかな音色だ。	・音源や映像を活用する。	音楽への関心・意欲・態度 【活動の様子】 【ワークシート】			
情報収集	2 (本時)	・第1主題と第2主題を比較して鑑賞する。	・〇〇な感じがするのは、どの要素の特徴かな。 ・暗いのと明るいので全く違う雰囲気だな。	・音楽を構成する要素に注目させたり、他者の意見を参考にさせたりする。	音楽への関心・意欲・態度 【活動の様子】 【ワークシート】 【振り返り】			
整理分析	3	・ソナタ形式を知り、提示部と再現部を比較して鑑賞する。	・構成はほぼ同じなのに、楽器の使い方を変えて工夫している。なぜだろう。	・楽器の特徴や構成に焦点を当て、共通点や相違点を見つけさせる。	鑑賞の能力 【活動の様子・発言】 【ワークシート】			
	4	・オーケストラ演奏とピアノ演奏と比較して鑑賞する。	・オーケストラだと、楽器の種類が多いから音色の工夫が幅広くできるな。	・楽譜を比較し参考にさせたり、他者の意見を参考にさせたりする。				
まとめ創造表現	5	・全曲を通して鑑賞する。	・4楽章もソナタ形式だ。第1主題はここまでで第2主題はここからかな。 ・3楽章と4楽章の間だけ途切れないのは、作曲者のどんな意図があるからだろう。	・ワークシートを活用し、構成に注目させて曲想を味わわせる。 ・作曲者の思いや時代背景にも注目させる。	音楽への関心・意欲・態度 【活動の様子】 【ワークシート】 【振り返り】			
実行		・鑑賞文を書く。	・作曲者の思いと曲想を関係付けて書こう。		鑑賞の能力 【活動の様子・発言】 【ワークシート】			
振り返り	6	・鑑賞文を紹介し合い、意見交流する。	・自分とは違う視点でおもしろいな。 ・こんな考え方があったのか、今後に生かそう。	・互いに評価させるとともに、教師からも紹介し、視点を示す。	音楽への関心・意欲・態度 【活動の様子】 【ワークシート】	○		

本時の授業展開（2/6時間目）

学習活動	指導上の留意事項	評価規準【評価方法】
1 ぐんぐん time （復習） ①楽器当てクイズをする。 ★楽器の音をCDで流して、楽器名を答える。	・他者と交流させる。 ・画像を提示し、視覚的な支援をする。	
2 つかむ 見通す ②曲の冒頭を聴く。 ③題材の課題を確認する。	・聴いたことがあるか尋ねるとともに、広く知られている曲であることを押さえる。 ・楽曲の特徴を捉え、よさを味わうことで、「なぜ、この曲が多くの人に愛されているのか」を考えていくことを確認する。	
3 課題解決		
本時の目標（本時の課題）「A」と「B」の特徴は何だろう？ ～比較して探ろう～		
④本時の目標を確認する。 ⑤提示部を聴く。 第1主題と第2主題を比較して聴き、ワークシートに感じ取ったことを記入する。 ⑥意見交流する。 ⑤でワークシートに書いた内容を他者と交流する。 ⑦グループで、第1主題と第2主題の特徴をまとめる。 班ごとのホワイトボードに記入する。 ⑧⑦でまとめた内容を全体交流する。 ⑨交流した内容を確認しながら、もう1度提示部を聴く。	・音楽を構成する要素を意識させる。 ・批評しながら交流させる。 ・音楽を構成する要素を意識させる。 ・ワークシートの「まとめ」の空欄に当てはめて考えさせる。	・オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、八短調、ソナタ形式と曲想の関わりに関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 【活動の様子・発言】 【振り返り】 ・オーケストラの響き、動機や主題の反復や変化、旋律の組み合わせ方、八短調、ソナタ形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 【活動の様子・発言】 【ワークシート】
4 振り返り ⑩本時のまとめをする。	・空欄に記入させる。	
（期待されるまとめ） 提示部は、（全体的に暗くて荒々しく、何かが迫り来るような動機の動き）が魅力である第1主題と、（全体的に明るく華やかで、ゆるやかな感じから軽快に前進していくような旋律）が魅力である第2主題に分かれている。		
⑪振り返りを記入する。 （期待される振り返り） 特に音色や旋律に注目して、第1主題と第2主題を比較することができた。作曲者が雰囲気の全く違う主題を取り入れているのは、聴く人を楽しませ工夫ではないのかなと思った。次回は違う視点から、愛される理由（魅力）を探りたい。		
⑫次回の授業内容を確認する。 ⑬復習、予習のイメージを持つ。 ★★【予習内容】教科書P. 34～37に目を通しておく。	・見通しを持たせる。	